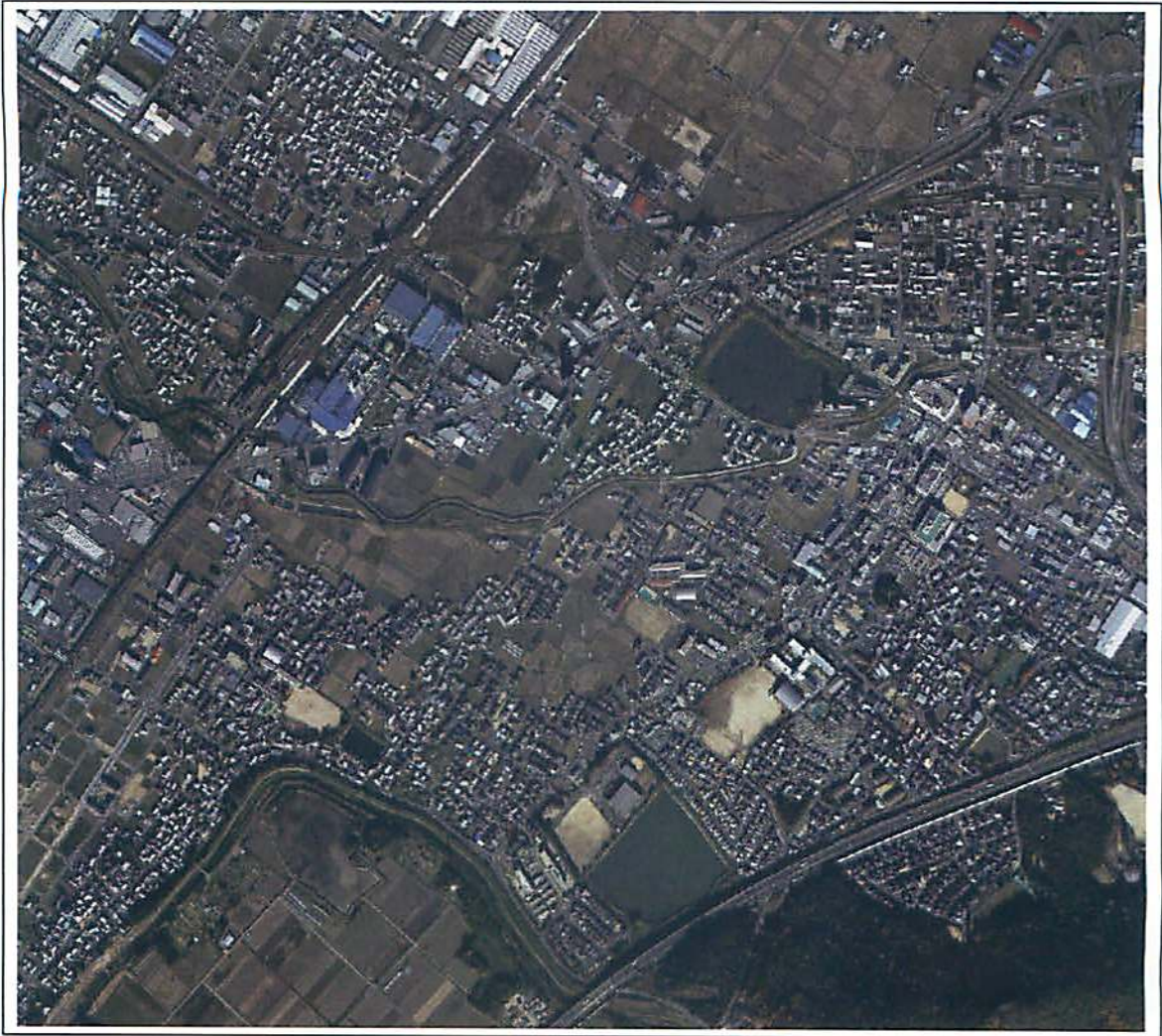


(一級河川 葉山川)

要 望 書



葉山川平地化事業周辺（上空より）

平成24年10月

葉山川平地化促進期成同盟会

要 望 書

滋賀県におかれましては、栗東市民の生活基盤の根源をなす治水対策として、葉山川平地化事業に格段のご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、葉山川は栗東市の丘陵地に源を発し、古くから旧東海道に沿う緑豊かな穀倉地帯の田園用水として、今日まで沿川住民の生活に深く関わって参りました。

しかし、近年の丘陵地等の都市化の進展により保水機能の低下と排水量の増加により、降雨時には市民生活を脅かす凶暴な河川へとその姿を一変させ、これまでも河川の氾濫や堤防の決壊などの被害をもたらしております。なかでも昭和57年8月の台風10号においては堤防決壊により、床下浸水153戸、床上浸水49戸等の被害が発生しております。

その後、滋賀県をはじめ関係機関のご努力により、市内での計画のほぼ半分に当たる国道1号手前までの暫定掘削による平地化や、上流約1,500メートルの現川について、狭隘区間の暫定対策や現川嵩上げ対策等を実施していただいたものの、平地化による抜本的な対応については未だ未完了であり、大雨のたびに宅地内浸水や道路冠水等の被害が発生している状況であります。近年の観測記録を上回るゲリラ的豪雨により、平地河川の流水量が一気に増大し、葉山川を横断する水路が飽和状態となるなど、天井川を背景とした洪水の危険性に沿川住民は絶えず脅えて生活しております。

生命・財産を洪水被害から守る治水対策は、他の何よりも優先して取り組まなければならない最重要事業であり、なかでも葉山川の平地化は、栗東市の中心市街地における慢性的な洪水被害の解消はもとより、今後の市街地開発や区画整理事業整備、また、沿川のまちづくりにも大きく影響を及ぼしております。

これまで事業促進の課題となっていた国道1号、東海道新幹線交差部の工事協定が締結され、平成23年度から3ヶ年計画で施工されることになり、地元自治会をはじめ全市民にとって大きな期待となっています。

沿川住民の永年の悲願は、計画区間全線の一日も早い平地化事業の完成であります。

県におかれましては、現下の厳しい経済・財政状況の中での事業促進となりますが事業の早期完成に向け次の事項につきまして、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 事 項

1. 葉山川改修事業（国道1号下流（暫定掘削完了部）～県道六地藏草津線間）の工事促進について

平成7年の河川計画法線上の企業移転以来、課題であった国道1号、東海道新幹線交差部について、締結した工事協定に基づき3ヶ年計画での確実な工事实施と早期に新河道への切り替えが行えるよう、上下流部での護岸整備を同時に実施頂くと共に、重点整備区間である県道六地藏草津線までの区間の一日も早い完成をお願い申し上げます。



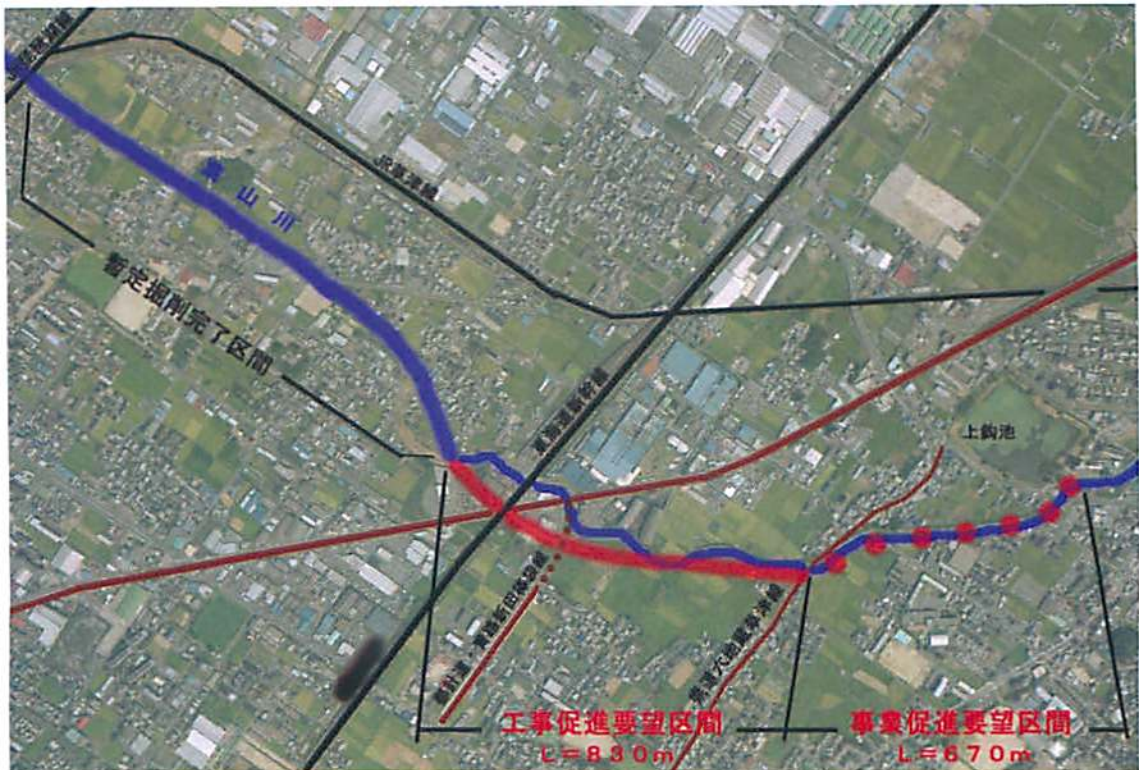
国道1号・新幹線交差部



県道六地藏草津線付近(上鈎地先)青線はH16.10.20台風23号での水位

2. 葉山川改修事業（県道六地藏草津線～上鉤池間）の事業促進について

県道六地藏草津線までの葉山川改修工事に引き続き、上流部上鉤池までの区間(L=670m)について、事業の早期着手をお願い申し上げます。



葉山川要望箇所



流域浸水状況（栗東市安養寺）

平成24年10月

葉山川平地化促進期成同盟会

会長 堀池 兵

